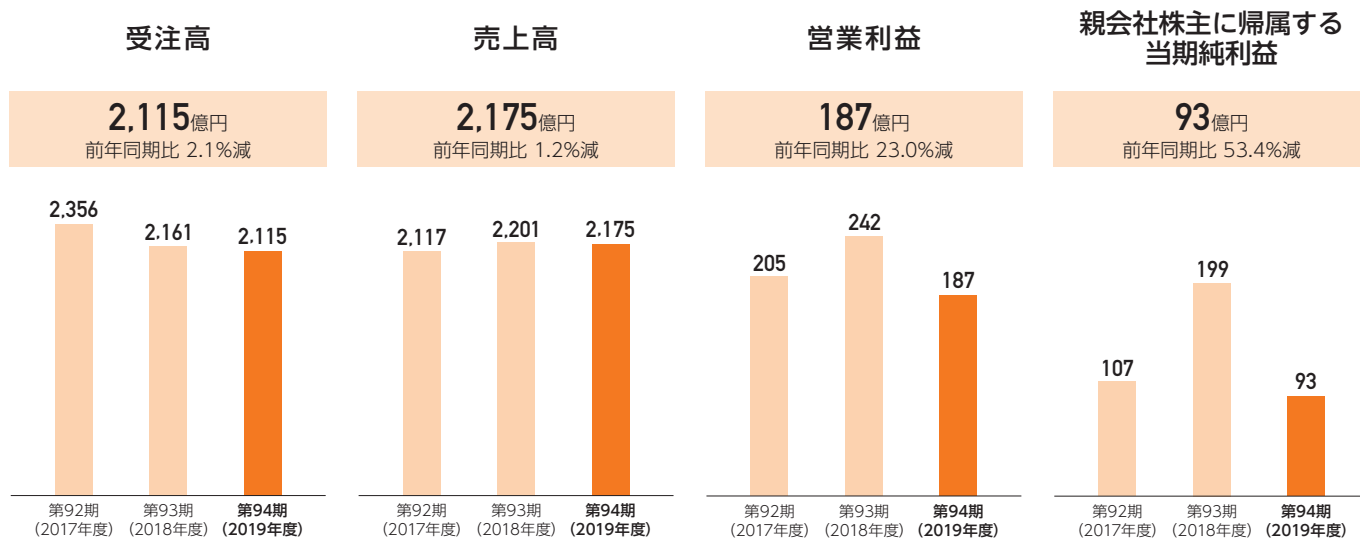


独創技術で変化を創り出し社会の発展に貢献する企業



連結業績ハイライト (単位：億円)



決算のポイント

当期の業績

当社グループにおける当期の業績につきましては、受注高は、素形材・エネルギー事業は増加したものの、産業機械事業が減少し、2,115億71百万円(前年同期比2.1%減)となりました。売上高は、産業機械事業及び素形材・エネルギー事業が共に前年同期並みの実績を確保し、2,175億27百万円(前年同期比1.2%減)となりました。損益面では、営業利益は187億9百万円(前年同期比23.0%減)、経常利益は199億7百万円(前年同期比28.7%減)となりました。また、前期は固定資産売却による特別利益を計上した一方、当期は株式市場全体の株価下落により投資有価証券評価損を計上したこと及び既設の風力発電機の保守・補修等のメンテナンス事業における追加費用として事業再構築引当金繰入額を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は93億10百万円(前年同期比53.4%減)となりました。

当期の配当

当期の期末配当につきましては、1株当たり17.5円といたします。これにより、中間期末の配当27.5円と合わせた年間配当は、1株につき45円となります。

次期業績見通し・ 配当予想

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため未定といたします。次期の配当予想につきましても、現時点では2021年3月期の連結業績予想が困難であることから未定としております。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルスに罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

さて、「ビジネスレポート」として当社の第94期報告書（2019年4月1日～2020年3月31日）をお届けいたします。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 宮内 直孝



各事業の概況

産業機械事業

売上高構成比 **78.8%**

● 業績のポイント

受注高は、樹脂製造・加工機械及び成形機が減少したことから、1,626億51百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

売上高は、樹脂製造・加工機械が増加したものの、成形機及びFPD装置が減少したことから、1,714億16百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

営業利益は、売上製品構成の変化などにより、192億72百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

素形材・エネルギー事業

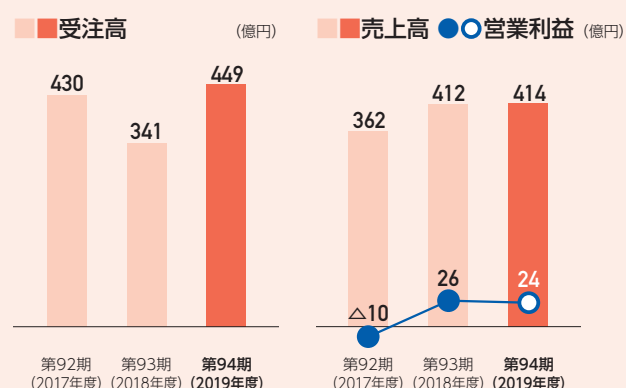
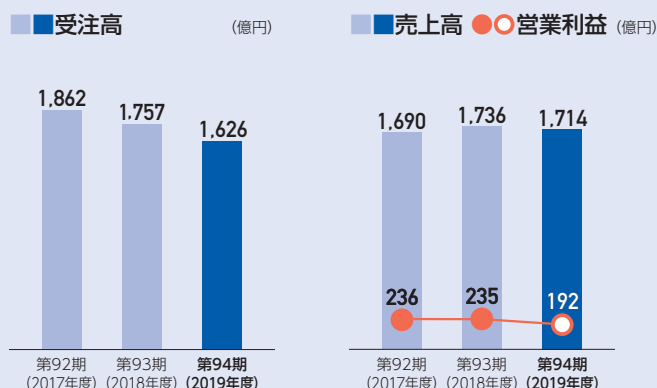
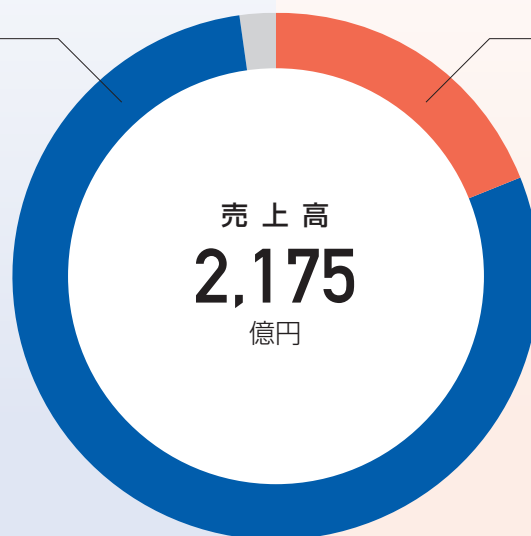
売上高構成比 **19.0%**

● 業績のポイント

受注高は、鋳鍛鋼製品及びフラッド鋼板・鋼管が共に増加したことから、449億91百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

売上高は、鋳鍛鋼製品及びフラッド鋼板・鋼管が共に前年同期並みの実績を確保し、414億18百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

営業利益は、減価償却費の増加などにより、24億84百万円（前年同期比7.1%減）となりました。



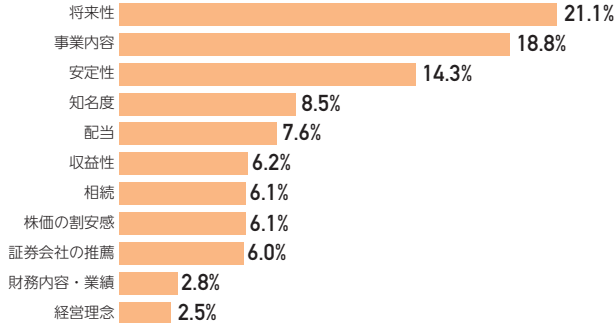


株主様アンケートの結果

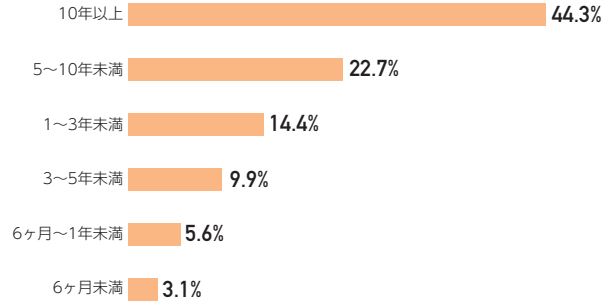
第94期中間報告書（ビジネスレポート）に同封いたしました「株主様アンケート」に対し、多くのご回答を頂戴しました。ご協力に感謝申し上げますとともに、以下にアンケート結果の一部をご紹介します。頂戴したご意見・ご要望は今後の株主様満足度向上に向けた活動やビジネスレポートの紙面づくりの参考とさせていただきます、更に充実したものとなるように取り組んでまいります。

アンケート実施期間：2019年12月10日～2020年1月31日 回答数：3,569件（16.9%）

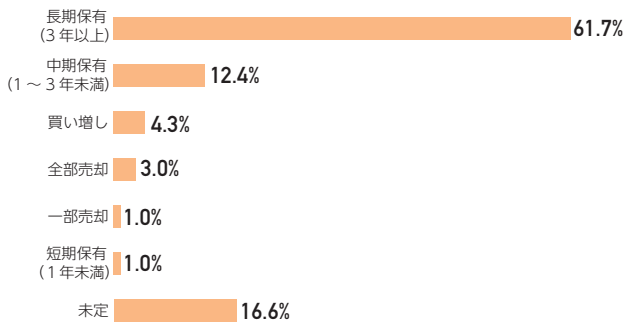
● 当社の株式を購入された理由（回答は3つまで）



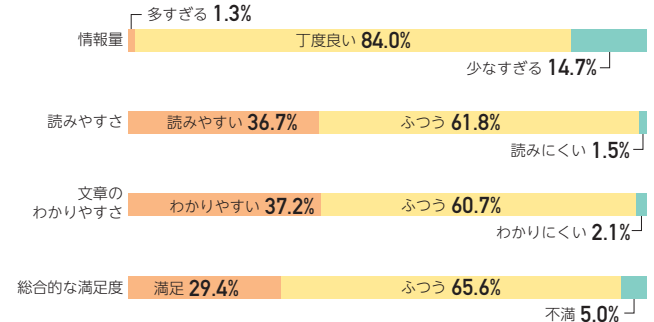
● 当社株式の保有期間



● 今後の当社株式の保有方針



● ビジネスレポート（第94期中間報告書）の掲載内容について



製品紹介

JSWの製品と社会とのつながり vol.2

水素蓄圧器

水素エネルギーの利用推進は、地球温暖化対策のみならず、エネルギー供給源多様化や産業振興、雇用創出など、様々な社会的課題への解決策として注目されています。

水素社会への期待

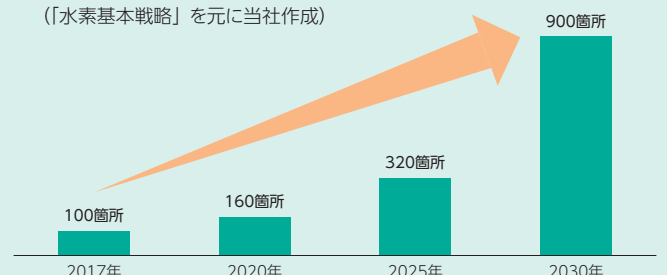
水素は、化学工業や製鉄などの過程で副次的に得ることが可能で、将来的に再生可能エネルギーからの水素製造も検討されています。燃焼しても温室効果ガスが発生しないことから究極のグリーンエネルギーとも呼ばれ、化石燃料に代わる次世代エネルギーの本命として高い期待が寄せられています。日本では、2017年に政府が「水素基本戦略」を決定しており、ガソリンや電気代わりに水素で走る燃料電池自動車と、その燃料として水素を供給する水素ステーションの普及が推進目標に掲げられています。

製品の特長

水素ステーション普及のためには高い安全性とコスト削減が重要な課題です。当社は、長年培ってきた圧力容器製造技術を活用し、世界最高レベルの安全性と耐久性を達成した、高品質な水素ステーション用鋼製蓄圧器を製造しています。昨年発売した新製品は従来品より重量4割減、耐久性は3倍以上に高まりました。製造コストも2～3割削減し、世界最高水準の製品です。国内外から多くの引き合いがあり、海外展開に向け国際認証も取得しました。

当社はこれからも独自の技術とノウハウを活用し、水素社会・低炭素社会の実現に貢献してまいります。

● 政府の掲げる水素ステーション普及目標 〔「水素基本戦略」を元に当社作成〕



当社の水素蓄圧器が使用されます



会社概要 (2020年3月31日現在)

会社の概要

創 立	1907(明治40)年11月1日
設 立	1950(昭和25)年12月11日
資 本 金	197億3,744万1,002円
従業員数(就業人員数)	単体:2,342名 連結:5,334名

取締役及び監査役 (2020年6月24日現在)

代表取締役社長	宮 内 直 孝
代表取締役副社長	松 尾 敏 夫
取締役常務執行役員	柴 田 尚
取締役常務執行役員	出 口 淳一郎
取締役常務執行役員	岩 本 隆 志
取締役執行役員	菊 地 宏 樹
取締役(社外)	出 川 定 男
取締役(社外)	中 西 義 之
取締役(社外)	三 井 久 夫
常勤監査役	渡 邊 健 二
常勤監査役	西 山 透
監査役(社外)	谷 澤 文 彦
監査役(社外)	三 澤 浩 司

執行役員(取締役兼務者を除く) (2020年6月24日現在)

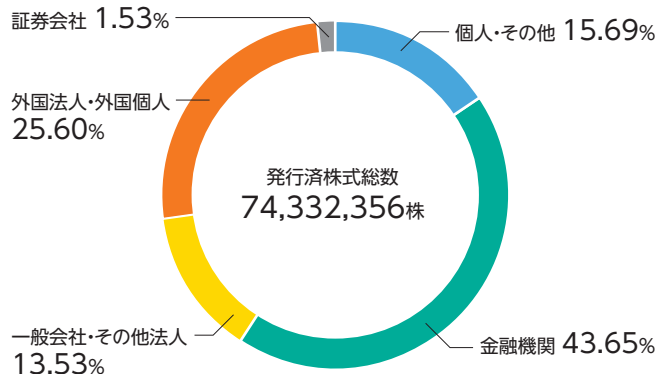
常務執行役員	大 下 真 雄
常務執行役員	香 川 豊 彦
執行役員	佐 藤 善 隆
執行役員	三 戸 慎 吾
執行役員	井 上 茂 樹
執行役員	馬 本 誠 司
執行役員	布 下 昌 司

(注) 当社は、取締役 出川定男、中西義之、三井久夫の3氏並びに監査役 谷澤文彦及び三澤浩司の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式総数	74,332,356株
株 主 数	21,662名

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
単 元 株 式 数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

ホームページをリニューアルしました

2019年12月よりホームページを全面リニューアルいたしました。当社の企業活動、製品などに関する詳しい情報をご覧いただけますので、どうぞご利用ください。

<https://www.jsw.co.jp/>



お詫び

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う編集体制の変更により、今回のビジネスレポート(第94期報告書)は掲載内容を一部変更しております。

JSW 日本製鋼所

〒141-0032

東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎 ウェスタタワー)

Tel 03-5745-2001(大代表)



この報告書は、環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。